

1 題材名 自己を見つめて —15歳の自画像—

2 題材の目標

- 自分らしい自画像を描くことに興味をもち、主体的に自分と向き合い制作に取り組もうとする。  
(美術への関心・意欲・態度)
- 主題や表現意図を明確にし、自分を表すのにふさわしい表現の構想を練ることができる。  
(発想や構想の能力)
- 画材や用具などの特性を生かし、自分の表現意図に応じて効果的な表現方法を工夫しながら描くことができる。  
(創造的な技能)
- 他者の作品の表現意図を理解し、自分の価値意識をもって味わうことができる。  
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

中学校学習指導要領解説美術編(平成20年9月)では、「思春期の生徒は、理想と現実とのほごまに悩み自己嫌悪に陥ったり、不信感をもったりする時期でもあり、この時期に、表現を通して、自己の夢や目標を形、色、材料によって具体的な形、可視的なものに表現することで、自己の肯定的認識と未来へのあこがれ及びそれを基に自己挑戦し、自己実現を果たしていく意欲や態度を養うことが大切である」とある。「自画像」とは、制作を通して自己を見つめ直し、将来の夢や目標、理想や現実を表現する活動でもある。進路選択を控えた中学3年生という多感な時期に、自分自身と向き合い、主題を明確にして取り組む自画像の制作は、生徒自身を成長させる題材であると考えられる。

(2) 生徒の実態

本校第3学年\*組は、控えめだが何事にも真面目で一生懸命に取り組むことができる生徒が多い。しかし、積極的に関わることを苦手とする生徒や、自分の考えや思いをまとめたり、上手に伝えたりすることに抵抗を感じている生徒も少なくない。そのため、話し合い活動ではよい意見をもっていながらも積極性に欠けてしまうところがある。美術の授業においても真面目に取り組むことができる一方で、描く・つくるなどの制作活動に苦手意識をもつ生徒も多く、特に自分と長時間向き合う「自画像」の制作に対して不安をもっている。

(3) 指導観

生徒の実態から、自画像の制作過程の中で、作品に対する思いや表現意図を伝え合い、アドバイスをし合う相互鑑賞の時間を適宜に設けていくことで、自他の作品のよさを認め合いながら、「自分らしい自画像」を制作することができるのではないかと考え、本題材を設定した。制作過程や完成段階などで自分の思いや考えを伝え合う対話型の鑑賞活動は、互いの表現のよさや個性などを認め合い尊重し合う態度を育み、作品を通じて他者と考えを交流させ、互いに学び合うことができるので、制作における課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習(アクティブ・ラーニング)にも通じるものである。友達からの感想や肯定的な助言を通じて、自分一人では気付くことができない作品の「よさ」や「課題」に気付き、創意工夫や自分の作品に対する思いや考えをより深めることができるようにしていきたい。

4 題材の評価規準

観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	<p><b>表現</b>自分らしい自画像を描くことに興味をもち、主体的に主題に合った構想を練ったり、制作をしようとしていたりしている。</p> <p><b>鑑賞</b>他者の作品を見ることに興味をもち、主体的に表現意図を理解したり、自分の価値意識をもって味わったりしようとしている。</p>	<p>・主題や表現意図を明確にし、自分を表すのにふさわしい表現の構想を練っている。</p>	<p>・画材や用具などの特性を生かし、自分の表現意図に応じて効果的な表現方法を工夫しながら描いている。</p>	<p>・作者の心情や表現意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p>

5 指導と評価の計画（12時間取扱い）○は本時の活動

次	時	学習のねらい、学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 【 】は評価方法
			関	発	技	鑑	
1	1	●ピカソの自画像を鑑賞して批評し合うことにより、表現の工夫などを感じ取る。 ・作品を鑑賞し、作者の主題、表現の意図と工夫などについて意見を述べ合う。	○				○ ・ピカソの自画像を見ることに関心をもち、主体的に表現意図を理解したり、自分の価値意識をもって味わったりしようとしている。【観察】 ・ピカソの心情や表現意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。【観察・ワークシート】
2	3	●自画像で表現したいテーマや構図、表現方法を考える。 ・自己分析を行い、自分らしさを見つける。 ・相互鑑賞をして、互いの表現意図を知る。 ・描きたいポーズや表情で写真を撮る。		○			・自己を深く見つめ感じ取ったことを基に主題を設定し、構図や表現方法など自分を表すのにふさわしい表現の構想を練っている。【観察・アイデアスケッチ】
3	3	●画材や用具などの特性を生かしながら作品を制作する。 ・構図やバランスに注意しながら下絵を描く。 ・写真や鏡などを見ながら、丁寧に着色する。	○			○	・自分らしい自画像を描くことに関心をもち、主体的に主題に合った構想を練ったり、制作したりしようとしている。【観察】 ・画材や用具などの特性を生かし、自分の表現意図に応じて効果的な表現方法を工夫しながら描いている。【観察・作品】
4	①	●相互鑑賞会をする。 ・感想・意見・助言等を交換する。 ・友達からのアドバイスを参考に、自分の課題を見つける。	○				○ ・友達作品を見ることに関心をもち、主体的に表現意図を理解したり、自分の価値意識をもって味わったりしようとしている。【観察】 ・作者の心情や表現意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。【観察、アドバイスカード】
5	3	●相互鑑賞会での助言を生かしながら作品を制作する。 ・自分の課題に添って、作品を制作する。 ・よりよい作品となるように、丁寧に仕上げをする。	○			○	・自分らしい自画像を描くことに関心をもち、主体的に制作しようとしている。【観察】 ・画材や用具などの特性を生かし、自分の表現意図に応じて効果的な表現方法を工夫しながら描いている。【観察・作品】
6	1	●鑑賞会をする。 ・自分の作品の紹介をする。 ・友達作品を鑑賞し、作者の主題、意図と表現の工夫などについて感じ取り、感想を述べ合う。	○				○ ・友達作品を見ることに関心をもち、主体的に表現意図を理解したり、自分の価値意識をもって味わったりしようとしている。【観察】 ・作者の心情や表現意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。【観察、ワークシート】

6 本時の学習

- (1) 目標 作者の心情や表現意図、創造的な表現の工夫などの鑑賞したことを基に、今後の制作活動の課題点を見つけることができる。
- (2) 準備・資料 作品、アドバイスカード、ワークシート 等
- (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
1 学習課題をつかむ。 お互いの作品を鑑賞し合い、今後の制作のヒントを得よう！	・鑑賞会の目的や注意事項などを説明する。 ・肯定的なほめ言葉や助言の例を挙げておき、積極的な鑑賞活動ができるようにする。 ・話合いがスムーズに進むように、鑑賞の観点を提示する。
2 一人ずつ自分の作品を紹介し、それぞれの作品を鑑賞し合う。 ・作品に対する質問をする。 ・作品の感想や意見を話し合う。	・話合いに消極的な生徒には、鑑賞の観点を基に例を挙げるなどして、発言できるように支援する。 ◎友達作品を見ることに関心をもち、主体的に表現意図を理解したり、自分の価値意識をもって味わったりしようとしている。【観察】
3 アドバイスカードに記入し、助言し合う。 ・作者の心情や表現意図を受けて、さらによくそうなるポイントを伝える。 ・他者の意見を聞き、制作の課題を見つける。	・生徒の発言をほめるなどして、話しやすい雰囲気となるように配慮する。 ◎作者の心情や表現意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。【観察、アドバイスカード】
4 ワークシートに感想を記入する。	・助言をすべて受け入れるのではなく、自分にとって必要だと思う内容を課題につなげるように指導する。
5 本時のまとめをする。	・感想・意見・助言を受けて、次時の制作活動へ意欲がもてるようにする。